

精密工学会学術講演会講演要項

学術講演会を実り多いものにするために、以下の注意事項を熟読のうえ、聴講者の身になって、理解しやすい有意義な講演を行われますようお願いいたします。

1. 講演について

1) 講演開始時刻の厳守

- ◆講演当日は、必ず総受付にて到着票と引換に名札をお受け取りください。
その後、セッション開始の15分前までには、講演室にお入りください。
なお到着票は近日中にご登録住所へ郵便にて発送いたします。
- ◆プロジェクタの操作係はおりませんので、操作係を必要とする方は各自でご手配ください。
- ◆遅刻した場合、原則として時間の延長は認めません。

2) 講演時間の厳守

- ◆**講演 1 件あたりの講演時間は15分です。(発表最大10分、討論、発表切替の合計で15分)**
発表時間は討論を活発にするため、規程の時間内で終わるよう時間を守ってください。
- ◆講演中の時間は、ブザーで次の通りお知らせします。

(発表開始)	
第一鈴	8分経過
第二鈴	(発表終了。討論開始) 10分経過
第三鈴	14分経過
(1分以内に討論終了。次の講演へ)	

3) 発表の方法

講演は次の3部で構成するとわかりやすいです。

- <導 入> ・聞く人は、最初はあなたの研究についてほとんど無関心であると思うこと。
 - ・まず、「なにを」What、「なぜ」Why 研究したかを短時間でしっかり話すこと。
 - ・いきなり、「どのように」How、の話をしてもらわない。
- <内 容> ・自分の研究の全部を話そうとしても、時間が短いので、重要な点だけを筋を通して述べる。
- <まとめ> ・得られた結果を、データ等を入れて要領良くまとめて話す。
 - ・内容の繰り返しとなる結論は省く。
 - ・残された問題を指摘する。

◎内容のユニーク性をはっきりと。そのときは、具体的なデータに基づいて！

4) 討 論

発表終了後、短い時間ではありますが、出来るだけ活発な討論を行うよう努力してください。

- ◆質問には簡潔にお答えください。
- ◆連名者も、積極的に質問にお答えください。
- ◆日本語での討論が不得手な発表者（英語で発表される方など）は、できる限り討論可能な研究協力者をお連れください。

2. プロジェクタ使用の注意事項

- ◆会場には貸出用のパソコンをご用意していません。パソコンは必ず各自でご持参されますようお願いいたします。
- ◆パソコンの設定・調整は各講演のセッション開始前をお願いします。
- ◆パソコンとプロジェクタは一般的な **HDMI ケーブルでの接続**となります。USB Type-C やミニ D-Sub 15 ピン等での接続には対応していませんのでご了承ください。また、変換アダプタはご用意していませんので、必要な変換機器類は各自でご用意くださいますようお願いいたします。特に、MacBook を使用される方は変換アダプタをご持参ください。
- ◆大会実行委員会から、液晶プロジェクタの使用にあたっての注意事項等が示される場合もありますので、大会実行委員会の情報にご注意ください。
- ◆パソコンの立ち上げには時間がかかります。講演者は予めパソコンの電源を入れておくと共に、プレゼンテーションソフトを立ち上げて準備をしておいてください。
- ◆パソコン不良に伴う講演トラブルについては、講演者の責任で対処していただくようお願いいたします。

以上となりますが、よろしくお願いいたします。

公益社団法人 精密工学会